

事後評価調書

I 事業概要																									
事業名	農業農村整備事業（経営体育成基盤整備事業）																								
地区名	とよはしだいに 豊橋第2地区																								
事業箇所	豊橋市 ^{わかまつちょう} 若松町 外																								
事業のあらまし	<p>本地区の対象地域は、豊橋市の南部に位置し、温暖な気候と豊かな水源により露地野菜を中心に多種多様な作物が栽培されている畑地帯である。</p> <p>生産基盤は、県営ほ場整備事業により整備されたが、地区内農道の大半が砂利舗装によるものであったため、農産物の集出荷及び生産資材の搬出入等に支障をきたしている。</p> <p>このため、畑地帯農道網を形成する支線道路のアスファルト舗装を行い、生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることより、市場性の高い良質な農作物の安定供給を目的として、2011年度から経営体育成基盤整備事業を実施し、2016年度に完了した。</p>																								
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>畑地帯の農道網を形成する支線道路のアスファルト舗装を行い、生産性の向上及び農業経営の安定化を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																								
事業費	事業費		内訳																						
	9.4億円		■工事費 8.9億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.4億円																						
事業期間	採択年度	2011年度	着工年度	2011年度	完成年度 2016年度																				
事業内容	道路工 28.0km																								
II 評価																									
事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>未舗装であった支線農道が整備され、農産物の輸送効率が向上するとともに、運搬時の荷痛みや砂塵が改善され、品質価値の高い良質な農産物が維持されている。</p> <p>また、舗装路面についても大規模な改修工事は行われていない。</p> <p>主要作物の作付面積（本地区）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施前（2010）</th> <th>計画（2016）</th> <th>現在（2021）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャベツ</td> <td>205.1ha</td> <td>205.1ha</td> <td>209.8ha</td> </tr> <tr> <td>たばこ</td> <td>46.7ha</td> <td>46.7ha</td> <td>42.5ha</td> </tr> <tr> <td>スイカ</td> <td>18.6ha</td> <td>18.6ha</td> <td>18.4ha</td> </tr> <tr> <td>はくさい</td> <td>9.3ha</td> <td>9.3ha</td> <td>8.7ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>安定的な農業生産が行われていることから、農業経営の安定化に寄与していると評価できる。</p>				区分	実施前（2010）	計画（2016）	現在（2021）	キャベツ	205.1ha	205.1ha	209.8ha	たばこ	46.7ha	46.7ha	42.5ha	スイカ	18.6ha	18.6ha	18.4ha	はくさい	9.3ha	9.3ha	8.7ha
	区分	実施前（2010）	計画（2016）	現在（2021）																					
キャベツ	205.1ha	205.1ha	209.8ha																						
たばこ	46.7ha	46.7ha	42.5ha																						
スイカ	18.6ha	18.6ha	18.4ha																						
はくさい	9.3ha	9.3ha	8.7ha																						
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>なし</p>																								
III 対応方針																									
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画どおり達成されているため、今後の事後評価は不要である。																								

改善措置の必要性	主要目標が概ね計画どおり達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	今後ともよりよい整備を行うためには、地域住民との意見交換を通じて、地域の体制や特性を反映し、地域の状況に即した整備が必要である。